



地域医療連携だより

H19.12
第16号



兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL.0798-45-6111(大代表)
TEL.0798-45-6001(地域医療・総合相談センター)



病院長 山 村 武 平

副院長 島 博 基(経費削減担当)
太 城 力 良(安全管理担当)
谷 澤 隆 邦(診療支援担当)
山 田 繁 代(療養環境担当)

地域医療・総合相談センター長
難 波 光 義

理 念

兵庫医科大学病院は、安全で質の高い医療を行い、地域社会へ貢献するとともに、よき医療人を育成します。

基本方針

- 患者の立場に立った医療の実践
- 人間性豊かな、優れた医療人の育成
- 高度で、先進的な医療や医学研究の推進
- 健康増進活動による保健・福祉の推進
- 地域の医療機関との円滑な連携

兵庫医科大学がんセンター開設



受 付

兵庫医科大学がんセンターのご案内

場所 8号館4階
TEL 0798-45-6061
FAX 0798-45-6217

平成19年11月1日、中央診療施設に「がんセンター」を開設しました。

がん対策基本法に基づいたがん診療に関わる役割を果たし、がん診療連携体制等がん医療に係わる情報交換、がん診療支援のための研修、その他がん診療全般に関する業務を行います。

がんセンターには、外来化学療法室を併設しており、専用リクライニングチェアを17台、化学療法専用ベッド3台設置し、さらに、抗がん剤専用調剤室を設け専任の薬剤師により、安全キャビネットを用いて抗がん剤の調剤を行っています。



外来化学療法室

点滴管理、症状観察、副作用チェック、薬剤の説明、プロトコール管理などを行いつつ、快適な環境での安全な抗がん剤治療を心がけています。

今後は地域の中核病院として、各臓器がんの臨床、研究、教育に取り組んでまいりますので、今後とも宜しく願い申し上げます。



リクライニングチェア



待合

診察室



がんセンターの構成員

中野 孝司	(センター長、教授)
藤盛 好啓	(専任医師、准教授)
大村 知子	(専任薬剤師)
藤澤 浩美	(専任薬剤師)
黒田 訓宏	(兼任薬剤師)
石川 靖子	(専任看護師)
河岡 千寿	(専任看護師)
森場 由美子	(兼任看護師)
森 眞孝	(兼任看護師)
鶴井 美保	(事務員)

専門外来のご案内



蓮池医師 スタッフ一同

内科 腎・透析科 CKDⅢ外来のご案内

毎週 月・水曜日：13時30分～15時30分（予約制）

担当：腎・透析科 蓮池 由起子 ほか

場所 1号館3階 内科外来（23診・24診）

TEL 0798-45-6200

FAX 0798-45-6925

慢性腎臓病（CKD）の患者では、腎機能障害は徐々に進行していきます。特に尿蛋白量が2+（または0.5g/日以上）を呈する患者では、腎機能が悪化する可能性は高くなります。しかしCKDの症状は、腎障害が高度に進行してから出現し、患者が自覚症状を訴えたときにはすでに透析治療の準備が必要な状態になっています。

日本腎臓学会の診療ガイドでは以下の1)～3)のいずれかに該当する場合は、腎臓専門医への紹介のうえで連携して治療を行うことが勧められています。

- 1) 蛋白尿が2+（または尿蛋白量0.5g/g尿クレアチニン）以上
- 2) 推定GFRが50ml/min/1.73m²未満
- 3) 蛋白尿と血尿がともに陽性（1+以上）

このようにCKDにおいては、血清クレアチニン値が2～3mg/dlであっても腎臓専門医による治療を早く始める必要があります。さらにQOLおよび生命予後に大きな影響を及ぼす合併症はCKDの早期からすでに認められるため、合併症の評価・対策も重要となります。

CKDⅢ外来では個々のCKD患者の病態に応じて、さまざまな取り組みを行っています。

- ・患者のCKDへの理解および治療の方針
- ・透析療法（血液透析、腹膜透析）の説明
- ・CKDの合併症（心・血管疾患など）の管理

また当院では腎臓病教室を定期的に行っており、それぞれ専門家（医師や看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー、移植コーディネーター、検査技師）が指導を担当しています。

希望があれば腎臓病教室への紹介も可能です。CKDⅢ外来は、平成19年9月5日（水）から開始致しました。診療は完全予約制とさせていただきます。詳細は内科外来までお問い合わせ下さい。

地域医療・総合相談センターからのお知らせ

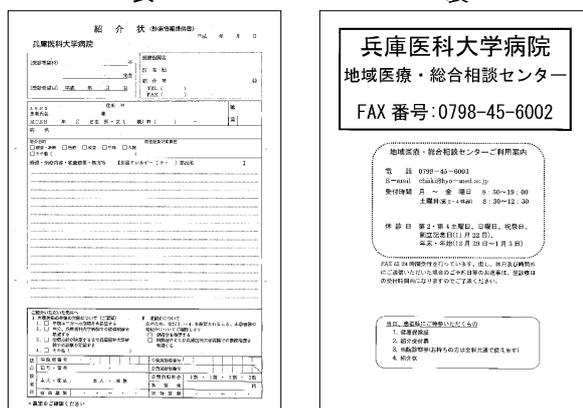
当院への紹介患者様の予約について

所定の紹介状（診療情報提供書）をご記入後、患者様のお名前（フリガナ）・性別・生年月日・現住所・電話番号・保険情報をFAXでお送りください。

診察当日に事前にカルテをご用意します。

所定の紹介状（診療情報提供書）は、お電話をいただきましたらお送りさせていただきます。

表 所定紹介状 裏



平成19年度防災訓練の実施



平成19年度防災訓練（トリアージ訓練）が平成19年10月26日（金）に実施されました。訓練の想定は大規模地震が発生し、木造家屋が倒壊、武庫川河川敷の側道から車両が転落、多数の歩行者が巻き込まれ患者が救急車等で当院に搬送されたことを想定した受入れ訓練を実施しました。

午後1時20分に西宮市消防局から患者の受入れ依頼があり訓練を開始しました。救急車、患者搬送車等で47名の仮想患者が搬送され、重症度別にトリアージを実施しました。訓練には、医師18名、看護師22名、兵庫医療大学の学生24名、事務25名が参加しました。

今後も災害拠点病院としてあらゆるケースを想定した訓練を行いたいと考えています。

特別講演会の報告

笹子 三津留 教授による特別講演会の報告

平成19年7月に就任した笹子 三津留 教授による特別講演会が、平成19年9月22日（土）ノボテル甲子園にて、地域医療機関からの参加者を含む116名が参加して行われました。

「胃癌治療の現状と展望－手術療法を中心に－」というテーマで行われ、特に地域医療機関の先生方と活発な意見交換が行われました。



病診・病病連携勉強会の報告

第4回 病診・病病連携勉強会の報告



平成19年11月17日(土)に地域医療機関34施設からの参加者を含む79名が参加して勉強会を実施しました。

当日の話題提供は整形外科 福西 成男 講師から「大腿骨骨折における地域連携パスについて」、歯科口腔外科 本田 公亮 講師から「歯科口腔外科が行っている先進医療について」であり、活発な質疑応答が行われました。

地域連携を深めるために「病診・病病連携勉強会」は11月頃、「地域医療懇談会」は6月頃に開催しています。

市民健康講座のお知らせ

特定機能病院として、より高度な医療技術と医療情報を提供するとともに、地域の基幹病院として、患者様やその家族、そして地域住民の皆様との間に医療を通じて深い信頼関係を築き、患者サービスの向上を図ることを目的として、本講座を定期的に開催しております。

どなたでも、ご自由に参加できますので、どうぞ受講下さい。



開催場所：兵庫医科大学 第3会議室(10号館3階)

開催時間：午後3時～4時30分 **参加費無料・申込不要(定員60名)**

○お問い合わせ先：0798-45-6035(ダイヤルイン)

兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター

開催日	テーマ	講演者
12月19日(水)	ここまで出来る肝臓のカテーテル治療	放射線科 客員教授 中尾 宣夫
1月16日(水)	PET/CT検査について	核医学・PETセンター センター長 柏木 徹
1月30日(水)	認知症とは	内科 准教授 武田 正中
2月13日(水)	花粉症	耳鼻咽喉科 学内講師 都築 健三
2月27日(水)	「コレステロールが高い」と言われました	内科 准教授 佐古田 剛
3月12日(水)	皮膚病の新しい治療	皮膚科 講師 樽谷 勝仁

◆編集・発行

平成19年12月1日

兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター 〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号

TEL 0798-45-6111(大代表)

0798-45-6001(地域医療・総合相談センター)

FAX 0798-45-6002(紹介予約専用) <http://www.hyo-med.ac.jp>(ホームページアドレス)

表紙の写真：季節の花・水仙(編集者撮影)